

**【活動の主題】** 生徒の安全を守り、部活動を元気にする環境づくり ～暑さ対策と備品の整備～

**【学校名】** 湖南省立 日枝中学校

## 1 本校の概要

本校は、生徒数 312 名、各学年 3 クラスの中規模校です。もともとは果樹園を切り拓いた高台の中腹にありましたが、近年の周辺開発により現在は新興住宅地に囲まれた立地となっています。地域は古くからの集落である下田地域と、湖南工業団地の発展とともに社宅街として開けてきた水戸地域からなり、生徒の 5.5 人に 1 人が外国籍という多文化な環境が特徴です。明るく活発な生徒が多く、学校全体に非常に活気があります。27 年続く体育祭の「よさこいソーラン」などの行事には全校で熱心に取り組み、生徒会活動も盛んです。生徒自らの提案で自動販売機や廊下の時計を設置するなど、自分たちの手でより良い学校を築こうとする主体性が、本校の何よりの強みです。

## 2 取り組んだ内容

### (1) ソフトテニス部の活動環境整備と熱中症対策

屋外のコートで活動するソフトテニス部において、近年の厳しい暑さから生徒の健康を守るための環境づくりを強化しました。まず、活動前のコートに散水して地表温度を下げるため、「水まき用ホース」を導入しました。これにより効率的な散水が可能となり、砂埃の飛散防止にも役立っています。また、直射日光を避けて適切な休憩がとれるよう、「タープテント」と設置用の「テント用重り」、さらに「日よけ傘」を整備しました。これらにより、コート脇に日陰の休息スペースを確保することができ、熱中症のリスクを物理的に低減させる体制を整えました。あわせて、ボールの紛失を防止するため、老朽化したコート周辺の「フェンス修理用備品」を購入し、網目のほつれなどの補修作業を行いました。



### (2) ソフトボール部の練習環境の充実

ソフトボール部においては、日々の練習の質を向上させ、生徒一人ひとりがより多くの打撃機会を持てる環境を目指しました。具体的には、練習の基本となる「競技用バット」および「ティーバッティングスタンド」を新たに購入しました。これまでは限られた本数のバットを交代で使用していましたが、今回予備を含めた備品を揃えたことで、複数のグループが同時にテ

ィーバッティング練習を行えるようになりました。これにより、短い活動時間の中でも生徒たちが効率よく練習に打ち込み、基礎技術の習得に専念できる環境を構築しました。



## 3 活動の成果

### (1) 【ソフトテニス部：安全性の向上と安心感の醸成】

散水設備と日陰を確保するための備品が整ったことで、夏季の活動中における体調不良のリスクを大幅に低減させることができました。生徒たちは、自らホースを使ってコートを冷やしたり、テントの下で日よけ傘を活用して休憩をとったりと、自分たちで安全を守る意識を持って活動しています。また、フェンスの補修により物理的な危険箇所が解消されたことも、安全な指導を行う上で大きな助けとなりました。明るく活発な生徒たちにとって、目に見える形で安全対策が強化されたことは、保護者の皆様からの安心感や学校への信頼にも繋がっており、多様な背景を持つ生徒たちが共に安心して活動できる基盤となりました。

### (2) 【ソフトボール部：練習向上と主体的な姿勢】

バットとティーバッティングスタンドを拡充したことで、部員一人あたりの打撃練習量が飛躍的に増加しました。これまでの「待ち時間」が「練習時間」へと変わり、生徒たちは自分たちの課題に合わせて熱心にバットを振り込んでいます。新しい道具を大切に使いながら、互いにアドバイスを送り合って練習に励む姿には、本校が大切にしている「生徒主体の活動」が色濃く表れています。限られた予算では一括購入が難しかった専門的な道具が揃ったことで、生徒たちの技能向上への意欲はさらに高まり、チーム全体の活気が一段と増すという素晴らしい成果が得られました。

**【結びに】** 今回の支援は、多様な生徒が共に学ぶ本校において、生徒の「安全」と「成長」を支える大きな力となりました。生徒主体の活気ある活動を、最適な環境で後押しできたことに心より感謝申し上げます。大切に活用させていただきます。